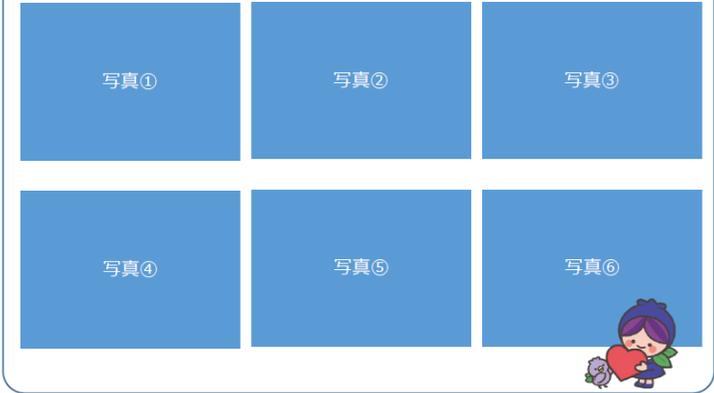
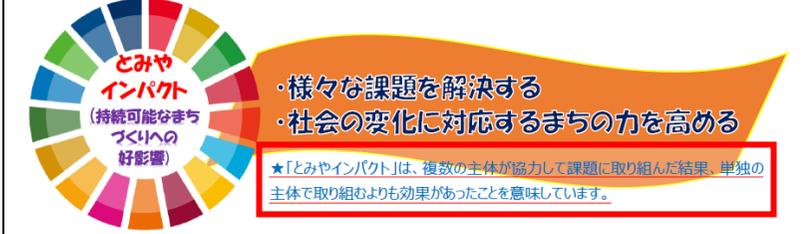


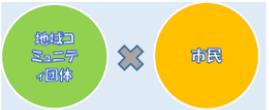
(仮称)富谷市協働のまちづくり推進指針(案) 対照表

修正前	修正後	修正No.	委員からの意見	対応
【P1】				
<p>1. 指針の目的</p> <p>(1) 指針のねらい(趣旨)</p> <p>まちづくりには色々な立場の人がかかわっているピヨ。 みんなで楽しく、住みよいまちをつくっていくピヨ。</p> <p>富谷市では、2016年の市制移行を機に、同じ目的のために、役割を分担し、市(市役所等)と市民、または市民どうしなどが共に協力して活動する「協働」の手法を再認識して、市民の思いや活動を活かしながら、よりよいまちづくりを進めていこうという機運や取組がこれまでも増して高まってきています。</p> <p>このような中、まちづくりに関わる市民や団体、企業、市などが、よりよいまちにしたいという思いを一つにし、共に力を合わせ、まちづくりに取り組むための考え方や方向性を具体的に示すものが必要となりました。</p> <p>このことから、市民や団体、企業、市などが、共にまちづくりに取り組むための具体的な考え方や方向性をみんなで共有することを目的とした、わかりやすい指針を考え、つくことにしました。</p> <p>(2) 富谷市が目指す協働のまちづくり</p> <p>富谷市にかかわる全ての人々が、まちを愛し、力を合わせて、日本一の住みたくなるまちをつくっていくピヨ。</p> <p>富谷市では、富谷市総合計画基本構想において、「住みたくなるまち日本一」を目指し、健全なまちづくりに向けて、市民みんなが協働するまちづくりを実現することを目標にしています。</p> <p>都市化が進み成長を続けている中で、まちの魅力と持続可能性を高め、少子高齢化や災害発生時などの社会の変化に柔軟に対応していくため、世代や立場を超えた多様な人々がつながり、みんなの知恵と力を活かす「オールとみや」の体制でまちづくりを進めていきます。</p>	<p>1. ガイドラインの目的</p> <p>(1) <u>ガイドラインのねらい(趣旨)</u></p> <p>まちづくりには色々な立場の人がかかわっています。 みんなで楽しく、住みよいまちをつくっていきましょう。</p> <p>富谷市では、2016年の市制移行を機に、同じ目的のために、役割を分担し、市(市役所等)と市民、または市民どうしなどが共に協力して活動する「協働」の手法を再認識して、市民の思いや活動を活かしながら、よりよいまちづくりを進めていこうという機運や取組がこれまでも増して高まってきています。</p> <p>このような中、まちづくりに関わる市民や団体、企業、市などが、よりよいまちにしたいという思いを一つにし、共に力を合わせ、まちづくりに取り組むための考え方や方向性を具体的に示すものが必要となりました。</p> <p>このことから、市民や団体、企業、市などが、共にまちづくりに取り組むための具体的な考え方や方向性をみんなで共有することを目的とした、わかりやすい<u>ガイドライン(指針)</u>を考え、つくことにしました。</p> <p>(2) 富谷市が目指す協働のまちづくり</p> <p>富谷市にかかわる全ての人々が、まちを愛し、力を合わせて、日本一の住みたくなるまちをつくっていきましょう。</p> <p>富谷市では、富谷市総合計画基本構想において、「住みたくなるまち日本一」を目指し、健全なまちづくりに向けて、市民みんなが協働するまちづくりを実現することを目標にしています。</p> <p>都市化が進み成長を続けている中で、まちの魅力と持続可能性を高め、少子高齢化や災害発生時などの社会の変化に柔軟に対応していくため、世代や立場を超えた多様な人々がつながり、みんなの知恵と力を活かす「オールとみや」の体制で、<u>誰もが「住みたくなる」、そして将来にわたって「住み続けたいくなる」</u>まちづくりを進めていきます。</p>	<p>⑤</p> <p>⑥</p> <p>⑦</p> <p>⑧</p> <p>⑨</p>	<p>⑥語尾は「ピヨ」ではなく、きちんとした表現にしたほうが良いのではないか。(増田委員)</p> <p>・子ども向けには「ピヨ」とすることも良いと思う。(平岡委員)</p> <p>⑨これから「住みたくなるまち」ということだけでなく、すでに富谷に住んでいる人がさらに「住み続けたいくなる」まちづくりを進めるとしてはどうか。(増田委員)</p>	<p>⑤③に同じ</p> <p>⑥委員の意見を踏まえ、全世代を対象としていることから、語尾を「ピヨ」から文章に合う表現に整理。</p> <p>⑦③に同じ</p> <p>⑧⑥に同じ</p> <p>⑨委員の意見を踏まえ、「誰もが「住みたくなる」、そして将来にわたって「住み続けたいくなる」」を追加。</p>

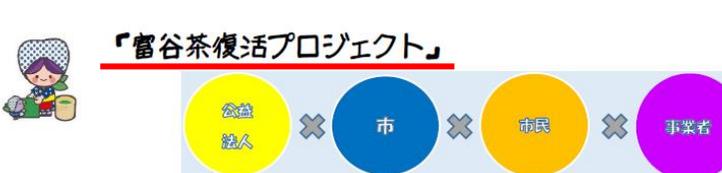
(仮称)富谷市協働のまちづくり推進指針(案) 対照表

修正前	修正後	修正No.	委員からの意見	対応
【P3】				
<p>(2) 市民の活動の現状 ＜省略＞</p> <p>(3) 改善が必要なこと(課題)</p> <p>①市民の意識を高めていく必要があります。 ア. これからは、なんでも市でやればいいという気持ちではなく、市でできること、市民ができることをみんなで理解していくこと。 ＜以下省略＞</p>	<p>(2) 市民の活動の現状 ＜省略＞</p> <p>(3) <u>これから求められること(課題)</u></p> <p>①市民の意識を高めていく必要があります。 ア. <u>市でできること、市民ができることをみんなで理解していくこと。</u> ＜以下省略＞</p>	<p>⑩</p> <p>⑪</p>	<p>⑩「なんでも市でやればいいという気持ちではなく」は言葉として強いので、不要と思われる。(増田委員)</p>	<p>⑩④に同じ</p> <p>⑪委員の意見を踏まえ、「なんでも市でやればいいという気持ちではなく」を削除。</p>
【P4】				
<p>②多くの市民をまきこみながら、市民の活動をより活発にしていることが必要です。 ア. 市民が主体となって実施、活動するための仕組み。 イ. 市や地域の事業に主体的に参加する市民を増やしていくこと。 ウ. 町内会加入につながる取組や担い手を増やしていくこと。 エ. 活動を継続していくための課題を一緒に考える場。 オ. 様々な世代のつながり。 カ. 地域のキーパーソン(中心となる人)を増やしていくこと。 キ. 制約やしがらみ、強制的な参加がおっくうに感じ、団体に属さないで活動する人が増えているので、活動にゆるやかさを持つこと。</p> <p>③市民と市のつながりをもっとよくしていくことが必要です。 ア. 市民と市が同じ目線に立って話ができる仕組み。 イ. 互いを理解し、気づかいながら、良い関係を築いていくこと。 ウ. 総合計画において市が目指している方針を市民が共有し、活動につなげていくこと。 ＜以下省略＞</p>	<p>②多くの市民をまきこみながら、市民の活動をより活発にし、<u>持続可能な活動に</u>していくことが必要です。 ア. 市民が主体となって実施、活動するための仕組み。 イ. 市や地域の事業に主体的に参加する市民を増やしていくこと。 ウ. 町内会加入につながる取組や担い手を増やしていくこと。 エ. 活動を継続していくための課題を一緒に考える場。 オ. 様々な世代のつながり。 カ. 地域のキーパーソン(中心となる人)を増やしていくこと。 キ. 制約やしがらみ、強制的な参加がおっくうに感じ、団体に属さないで活動する人が増えているので、活動にゆるやかさを持つこと。</p> <p>③市民と市のつながりをもっとよくしていくことが必要です。 ア. 市民と市が同じ目線に立って話ができる仕組み。 イ. 互いを理解し、気づかいながら、良い関係を築いていくこと。 ウ. <u>総合計画に示されている富谷市のまちづくり及び将来像を市民も共有し、活動に生かしていくこと。</u> ＜以下省略＞</p>	<p>⑫</p> <p>⑬</p>	<p>⑫短命な活動を乱発させるのではなく、持続可能な組織、団体を作っていくという仕組みは盛り込む必要がある。(佐々木会長)</p>	<p>⑫会長の意見を踏まえ、「持続可能な活動」を追加。</p> <p>⑬市議会一般質問において、市の枠組みに市民の活動をはめこむことに捉えられる表現なので、工夫が必要との意見があったことを踏まえ、表現を整理したもの。</p>

修正前	修正後	修正No.	委員からの意見	対応
<p>【P5】</p> <h3>3. 協働についての基本的な考え方</h3> <p>(1)「協働」とは</p> <p>協働は、色々な立場の人たちが、同じ目的のために、役割を分担し、お互いを尊重しながら、協力して活動することなんだピヨ。</p> <p>市民、公益的な活動(公共の利益につながる活動)を行う団体や公益法人、事業者、市など、異なる性格を持つ組織・集団が、同じ目的のために役割を分担し、お互いを尊重しながら、同じ目線に立って、連携・協力しあうことをいいます。</p> <p>また、協働は、課題を解決するための一つの方法として捉えてくことが大切であり、様々な結びつきから、人と人のつながりを広げていくことが、協働の取組の基本となります。</p> <div data-bbox="139 821 853 1387"> <p>～身近なところですでに始まっている富谷の「協働」～</p> <p>「協働」とは、何か全く新しい活動をしていこうというのではなく、これまでの地域活動や市民活動などの延長線上にある取り組みです。</p> <p>すでに市民にとって身近な分野、関心のある分野からあちこちで始まっています。</p>  </div>	<h3>3. 協働についての基本的な考え方</h3> <p>(1)「協働」とは</p> <p>協働は、色々な立場の人たちが、同じ目的のために、役割を分担し、お互いを尊重しながら、協力して活動することです。</p> <p>市民、公益的な活動(公共の利益につながる活動)を行う団体や公益法人、事業者、市など、異なる性格を持つ組織・集団が、同じ目的のために役割を分担し、お互いを尊重しながら、同じ目線に立って、連携・協力しあうことをいいます。</p> <p>また、協働は、課題を解決するための一つの方法として捉えてくことが大切であり、様々な結びつきから、人と人のつながりを広げていくことが、協働の取組の基本となります。</p> <div data-bbox="913 821 1627 1387"> <p>～身近なところですでに始まっている富谷の「協働」～</p> <p>「協働」とは、何か全く新しい活動をしていこうというのではなく、これまでの地域活動や市民活動などの延長線上にある取り組みです。</p> <p>すでに市民にとって身近な分野、関心のある分野からあちこちで始まっています。</p>  </div>	<p>⑭</p> <p>⑮</p>	<p>委員からの意見</p>	<p>⑭⑮と同じ</p> <p>⑮とみやわくわくミーティングでの意見を踏まえ、具体的な協働の事例案を明記。</p>
<p>【P6】</p> <p>～多様なつながりで磨く富谷の協働～</p> <p><上図省略></p> 	<p>～多様なつながりで磨く富谷の協働～</p> <p><上図省略></p> 	<p>⑯</p>	<p>⑯「とみやインパクト」の言葉の意味がわかるように、解説を加えたほうが良い。(増田委員)</p>	<p>⑯委員の意見を踏まえ、図の下部に「とみやインパクト」の解説を追加。</p>

修正前	修正後	修正No.	委員からの意見	対応
<p>【P8】</p> <p>(2) 協働のかたち 協働には様々なかたちがあります。富谷市でも様々なかたちの協働が行われています。</p>  <p>写真</p> <p>例 「成田地区 地域との防災教育活動」など</p>  <p>写真</p> <p>例 「西成田コミュニティ推進協議会大運動会」など</p>	<p>(2) 協働のかたち 協働には様々なかたちがあります。富谷市でも様々なかたちの協働が行われています。</p>  <p>写真</p> <p>【とみやインパクト(協働の効果)】</p>  <p>【とみやインパクト(協働の効果)】</p>  <p>写真</p> <p>【とみやインパクト(協働の効果)】</p>	<p>⑰</p>		<p>⑰協働のかたちについて、具体的な事例案を明記。 (具体的な取組内容等については、今後、各関係者に協力依頼予定)</p>

(仮称)富谷市協働のまちづくり推進指針(案) 対照表

修正前	修正後	修正No.	委員からの意見	対応
【P9】				
 <p>「000000」</p> <p>例 「とみやはちみつプロジェクト」など</p> <p>写真</p>	 <p>「とみやはちみつプロジェクト」</p> <p>〔取組内容〕</p>  <p>〔とみやインパクト(協働の効果)〕</p>			
 <p>「000000」</p> <p>例 「富谷塾塾生の活動」など</p> <p>写真</p>	 <p>「富谷茶復活プロジェクト」</p> <p>〔取組内容〕</p>  <p>〔とみやインパクト(協働の効果)〕</p>			

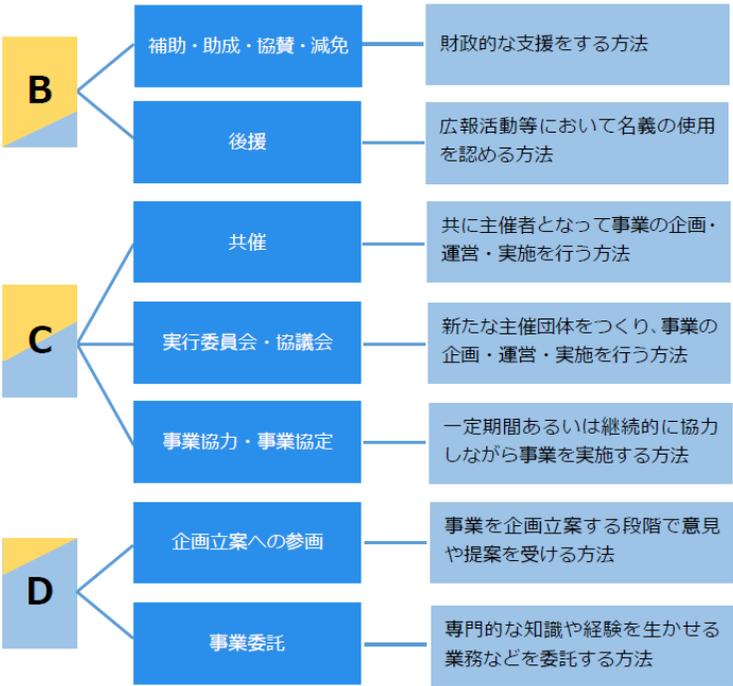
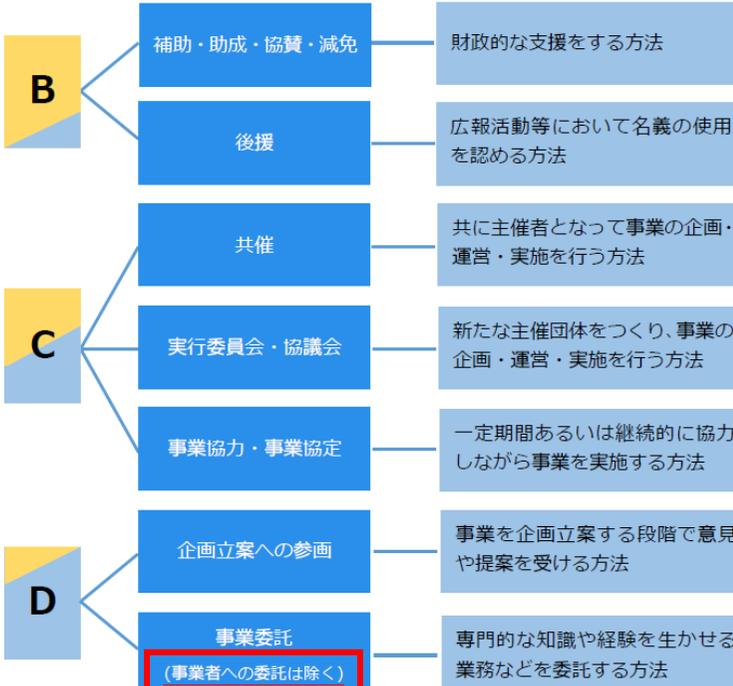
(仮称)富谷市協働のまちづくり推進指針(案) 対照表

修正前	修正後	修正No.	委員からの意見	対応
<p>【P10】</p> <p>(3) 協働の進め方</p>	<p>(3) 協働の進め方</p>	<p>⑱</p> <p>⑲</p> <p>⑳</p> <p>㉑</p> <p>㉒</p> <p>㉓</p>	<p>⑱ 組織は、立ち上げのときや衰退したときに、市役所の支援など何らかの支援が必要となる。(北野澤委員)</p> <p>⑲ 地域を良くしていくのは住民なのだという視点を盛り込む。(増田委員)</p> <p>⑳ ・何かやりたいと思った時や困った時にわかりやすい相談窓口があると良い。(村上委員、北野澤委員)</p> <p>㉑ ・情報発信だけではなく、どのような方法で交流するのかを具体的に伝える。(日諸委員)</p> <p>・地域を知る機会を作り、知った上で何をしなければいけないか考えていく。(佐藤(政)委員)</p> <p>・市民が思いを共有できる場があると良い。(平岡委員、菅野委員)。</p> <p>・市と市民がお互いに情報を共有することが必要。(佐藤(怜)委員)</p> <p>・活動の詳細をうまく情報発信する。(北野澤委員)</p> <p>・このほか増田委員より各段階における提案</p>	<p>⑱ 委員の意見を踏まえ、表の中に立ち上げ段階の項目を追加し、とみやわくわくミーティングでの意見を踏まえ、文言を整理。</p> <p>⑲ 委員の意見を踏まえ、「まち・地域をよくするために何かやってみたいという気持ちを大切にする」を追加。</p> <p>・委員の意見を踏まえ、「わからないことや困ったことがあれば市役所等に相談してみる」を追加。</p> <p>・委員の意見を踏まえ、「お互いを知る・つながる」の部分に具体例を明記。</p> <p>・委員の意見を踏まえ、「地域に関心を持ち、地域の活動に積極的に参加する」を追加。</p> <p>・委員の意見を踏まえ、「お互いを知り、つながる場に参加してみる」を追加。</p> <p>・委員の意見を踏まえ、「必要な情報を収集・発信する」を追加。</p> <p>・委員の意見を踏まえ、「それぞれの中で芽生えたものを伝え、語り合い、互いの想いを言葉にする」、「共感を通して信頼関係を築く」、「志を同じくする仲間と一緒に活動してみる」を追加。</p>

(仮称)富谷市協働のまちづくり推進指針(案) 対照表

修正前	修正後	修正 No.	委員からの意見	対応
			<p>・とみやわくわくミーティングにおいての提案</p> <p>②増田委員より見出しの提案</p> <p>④「つながる」と「共有する」の部分がだめだと失敗するので、この土台づくりの部分を強調すると良い。(増田委員)</p> <p>②「進化・発展」において、「新たなきっかけを生み出す土壌となる」等を追加してはどうか。(増田委員)</p> <p>③最後に「この循環はやがて地域の文化(雰囲気)や財産になっていく」を追加してはどうか。(増田委員)</p>	<p>・意見を踏まえ、以下を追加。</p> <p>・「広報、ホームページ、SNSなどで情報収集してみる」</p> <p>・「身近な場所で気軽に対話し、課題や気づきを共有する」</p> <p>・「活動できる時間はひとそれぞれ、無理しないで気軽に参加できる雰囲気を大切にする」</p> <p>・「お互いを認め合って、互いにサポートし合う」</p> <p>・「活動の成果を話し合い、今後の活動に生かす」</p> <p>・「他の団体や活動などの良い点を取り入れる」</p> <p>・「自分たちの活動を市や市民へ広く発信する」</p> <p>・「課題が共通している他の主体とも連携してみる」</p> <p>②原案を生かし、各段階に見出しとして追加。</p> <p>④委員の意見を踏まえ、「お互いを知る・つながる」及び「共感する・目的を共有する」の部分に「ポイント」とコメントを追加。</p> <p>②委員の意見を踏まえ、今後の活動へのつながりとして「振り返る」の部分に「新たな気持ちが生まれる」と整理して追加。</p> <p>③委員の意見を踏まえ、「この循環はやがて地域の文化、雰囲気、財産になっていく」と整理して追加。</p>

(仮称)富谷市協働のまちづくり推進指針(案) 対照表

修正前	修正後	修正No.	委員からの意見	対応
<p>【P11】</p> <p>(4) 協働を進めるうえで配慮すること</p> <p>協働をみんなで楽しく進めていくためのポイントなんだピヨ。 お互いの特性を理解しあってゆるーくつながりながら取り組んでみるピヨ。</p> <p>①目的を共有し、楽しく、無理なく、風どおしのいい活動を心がけましょう。</p> <p><以下省略></p>	<p>(4) 協働を進めるうえで配慮すること</p> <p>協働をみんなで<u>楽しみながら</u>進めていくためのポイントです。 お互いの特性を理解しあって<u>ゆるやかに</u>つながりながら<u>組んでいきましょう</u>。</p> <p>①目的を共有し、楽しく、無理なく、<u>ゆるやかなつながりと風とおし</u>のいい活動を心がけましょう。</p> <p><以下省略></p>	<p>②④</p> <p>②⑤</p> <p>②⑥</p> <p>②⑦</p> <p>②⑧</p>	<p>②⑥「ゆるく」という文言は良い意味ばかりではないため、「ゆるやかに」としてはどうか。(増田委員)</p> <p>②⑧文言として、「風どおし」ではなく「風とおし」ではないか。(増田委員)</p>	<p>②④「楽しく」を「楽しみながら」に整理。</p> <p>②⑤⑥に同じ</p> <p>②⑥委員の意見を踏まえ、「ゆるく」を「ゆるやかに」に整理。</p> <p>②⑦わくわくミーティングでの意見を踏まえ、「ゆるやかなつながり」を追加。</p> <p>②⑧委員の意見を踏まえ、「風どおし」を「風とおし」に整理。</p>
<p>【P12】</p> <p>(5) 市と協働する場合の活動範囲</p> <p>市と協働する場合、協働に適している活動の範囲は次のとおりです。</p> <p><上図省略></p> <p><主な協働のかたち></p>  <p>The diagram shows three main collaboration types: B (補助・助成・協賛・減免, 後援), C (共催, 実行委員会・協議会, 事業協力・事業協定), and D (企画立案への参画, 事業委託). Each type is linked to a specific method of implementation.</p>	<p>(5) 市と協働する場合の活動範囲</p> <p>市と協働する場合、協働に適している活動の範囲は次のとおりです。</p> <p><上図省略></p> <p><主な協働のかたち></p>  <p>The diagram is identical to the one in the '修正前' column, but the '事業委託' box is highlighted with a red border and contains the text '(事業者への委託は除く)'.</p>	<p>②⑨</p>		<p>②⑨事業委託の範囲が不明確であることから、「事業者への委託は除く」を追加。</p>

(仮称)富谷市協働のまちづくり推進指針(案) 対照表

修正前	修正後	修正No.	委員からの意見	対応
【P13】				
<p>4. 協働の推進に向けて</p> <p>(1) 方針</p> <p>①地域コミュニティ活動を推進します。</p> <p>わたしたちは、町内会などの地域コミュニティの重要性を認識し、地域の中でゆるやかなつながりを維持しながら、持っている力を発揮し、災害が発生したり、困ったときなどに互いに助け合い、支え合うことにより、誰もが暮らしやすい地域をつくれます。</p> <p>②交流を推進します。</p> <p>わたしたちは、お互いの理解を深めるため、集会やインターネットの活用など様々な手段を用いて積極的な交流に努めます。また、協働のまちづくりを推進するためのネットワークの構築に努めます。</p> <p>③まちづくりを担う人材を育成します。</p> <p>わたしたちは、協働によるまちづくりを担う人材の育成に努めます。また、その目的を達成するため、協働によるまちづくりを学習する機会と場を設けるよう努めます。</p> <p>④とみやを愛し、自発的に活動する子どもたちを育成します。</p> <p>わたしたちは、子どもたちをまちづくりの担い手として尊重し、健やかに成長することのできる環境づくりに努めます。また、様々な体験と交流を通じて、郷土を愛し、自発的に地域社会に貢献する子どもたちの育成に努めます。</p> <p>⑤情報を共有します。</p> <p>わたしたちは、協働するための情報を積極的に受信し、発信するよう努めます。また、対話をはじめ様々な手段を通じて、相互に交流及び協働するための情報の共有に努めます。</p>	<p>4. 協働の推進に向けて</p> <p>(1) 方針</p> <p>①地域コミュニティ活動を推進します。</p> <p>わたしたちは、町内会などの地域コミュニティの重要性を認識し、地域の中でゆるやかなつながりを維持しながら、持っている力を発揮し、災害が発生したり、困ったときなどに互いに助け合い、支え合うことにより、誰もが暮らしやすい地域をつくれます。</p> <p>②交流を推進します。</p> <p>わたしたちは、お互いの理解を深めるため、<u>新しい生活様式に対応した集会やインターネットの活用など様々な手段を用いて多様な主体の積極的な交流</u>に努めます。また、協働のまちづくりを推進するためのネットワークの構築に努めます。</p> <p>③まちづくりを担う人材を育成します。</p> <p>わたしたちは、<u>まちづくりの主役は市民であるという思いを共有し、まちづくりを担う人材の育成に努めます</u>。また、その目的を達成するため、<u>次世代と活動を共にしながら引き継いでいくことや協働によるまちづくりを学習する機会と場を設けるよう努めます</u>。</p> <p>④とみやを愛し、自発的に活動する子どもたちを育成します。</p> <p>わたしたちは、子どもたちをまちづくりの担い手として尊重し、健やかに成長することのできる環境づくりに努めます。また、様々な体験と交流を通じて、郷土を愛し、自発的に地域社会に貢献する<u>子どもの育成に努めながら、子どもたちに富谷のよさを感じてもらい、伝えていきます</u>。</p> <p>⑤情報を共有します。</p> <p>わたしたちは、協働するための情報を積極的に受信し、<u>全世代に発信するよう努めます</u>。また、対話をはじめ様々な手段を通じて、相互に交流及び協働するための情報の共有に努めます。</p>		<p>③⑩協働のあり方も新しい生活様式の中で考えなければいけないのではないか。(佐藤(怜)委員)</p> <p>③⑪行政と市民だけではなく、企業との連携も大事なのではないか。(菅野委員)</p> <p>③⑫地域を良くしていくのは住民なのだという視点を盛り込む。(増田委員)</p> <p>③⑬一緒にやりながら思いを伝えていくことが大切である。(佐藤(政)委員)</p> <p>③⑭子どもたちに参画してもらう取り組みが必要であり、富谷の良さを感じてもらうことが大切である。(日諸委員)</p> <p>③⑮子どもたちに様々な活動を通して沢山のの人に支えられているということを感じてもらい、これからの富谷を担っていくという意識を持ってもらうことが大切である。(大谷委員)</p> <p>③⑯情報発信は全世代に発信できるよう、年齢層ごとに発信方法を分ける。(菅野委員)</p>	<p>③⑩委員の意見を踏まえ、「新しい生活様式に対応した」を追加。</p> <p>③⑪委員の意見を踏まえ、「多様な主体の」を追加。</p> <p>③⑫委員の意見を踏まえ、「まちづくりの主役は市民であるという思いを共有し」を追加。</p> <p>③⑬委員の意見を踏まえ、「次世代と活動を共にしながら引き継いでいくこと」を追加。</p> <p>③⑭「子どもたち」を「子ども」に整理。</p> <p>③⑮委員の意見を踏まえ、「子どもたちに富谷のよさを感じてもらい、伝えていきます」を追加。</p> <p>③⑯委員の意見を踏まえ、「全世代に」を追加。</p>

(仮称)富谷市協働のまちづくり推進指針(案) 対照表

修正前	修正後	修正No.	委員からの意見	対応
【P14】				
<p>(2) 推進に向けた取組 協働のまちづくりを進めていくため、それぞれの考えを持ち寄り、得意なことでの力を出し合いながら一緒に取り組んでいくピヨ。</p> <p>①協働を推進するための体制をつくります。 ア. 協働のまちづくり推進審議会の設置 イ. 市役所内の連携 ウ. 職員研修の実施 エ. 市民の活動を支援する既存の組織の連携強化 オ. 市民の活動を総合的に支援する新たな組織等の検討</p> <p>②情報発信を充実し、学び・交流の機会と場をつくります。 ア. 広報、ホームページ、SNS 等による情報発信の充実 イ. 学び・交流の機会と場の提供</p> <p>③市民が活動しやすい環境をつくります。 ア. 相談窓口の充実 イ. 既存の制度を含め、より使いやすい支援制度の検討 ウ. 地域の拠点の整備 エ. 子どもや若い世代が意見、活動しやすい場の提供 オ. 市民の活動の場となる公共施設をより利用しやすくするための検討</p> <p>④活躍する市民を増やします。 ア. 主体的に活動する人材の育成 イ. 中間支援できる人材の育成 ウ. 郷土を愛する子どもの育成 エ. 「富谷塾」など市民の活躍を育成支援する仕組みの充実</p>	<p>(2) 推進に向けた取組 協働のまちづくりを進めていくため、それぞれの考えを持ち寄り、得意なことでの力を出し合いながら<u>みんな</u>で取り組んでいきましょう。</p> <p>①多様な主体による協働を推進するための体制をつくります。 ア. 協働のまちづくり推進審議会の設置 イ. 市役所内の連携と<u>風とおしのよい活気のある職場風土の構築</u> ウ. 職員研修の実施 エ. 市民の活動を支援する既存の組織等の連携強化 オ. 市民の活動を総合的に支援する新たな組織等の検討 カ. <u>協働の推進状況や時代の変化に対応した指針の整備</u></p> <p>②情報発信を充実し、学び・交流の機会と場をつくります。 ア. 広報、ホームページ、SNS 等による情報発信の充実 イ. 学び・交流の機会と場の提供</p> <p>③市民が活動しやすい環境をつくります。 ア. 相談窓口の充実 イ. 既存の制度を含め、より使いやすい支援制度の検討 ウ. 地域の拠点の整備 エ. 子どもや若い世代が意見、活動しやすい場の提供 オ. 市民の活動の場となる公共施設をより利用しやすくするための検討</p> <p>④活躍する市民を増やします。 ア. 主体的に活動する人材の育成 イ. 中間支援できる人材の育成 ウ. 郷土を愛する子どもの育成 エ. 「富谷塾」など市民の活躍を育成支援する仕組みの充実</p>	<p>③7</p> <p>③8</p> <p>③9</p> <p>④0</p> <p>④1</p> <p>④2</p>	<p>③9行政と市民だけではなく、企業との連携も大事なのではないか。(菅野委員)</p> <p>④0市民だけではなく、市役所内の風とおしも良くする必要がある。(平岡委員)</p> <p>④2時代の変化に合わせて指針も進化させていく必要があるのではないか。(村上委員)</p>	<p>③7「一緒に」を「みんな」に整理。</p> <p>③8⑥に同じ</p> <p>③9委員の意見を踏まえ、「多様な主体による」を追加。</p> <p>④0委員の意見を踏まえ、「風とおしのよい活気のある職場風土の構築」を追加。</p> <p>④1組織のほか施設も包含するよう「等」を追加。</p> <p>④2委員の意見を踏まえ、「カ. 協働の推進状況や時代の変化に対応した指針の整備」を追加。</p>